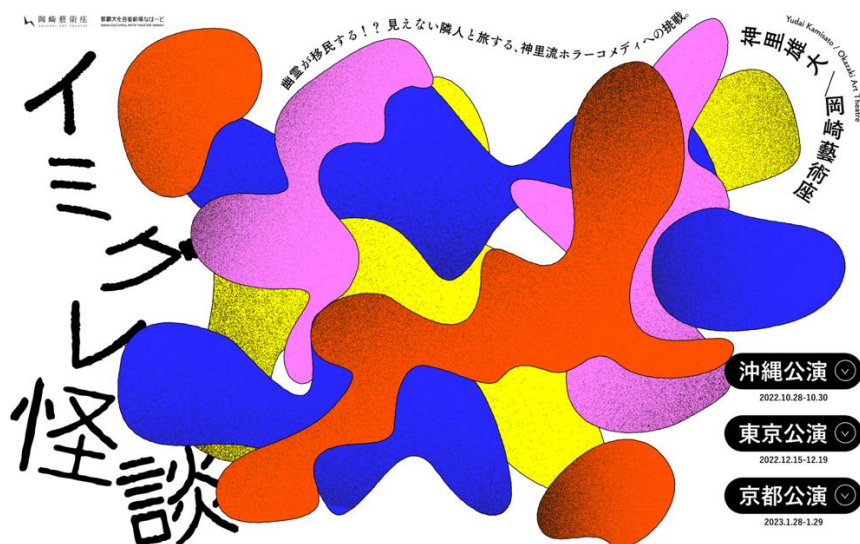


2022(令和4)年9月15日 報道発表資料
[本リリース発信元] 那覇文化芸術劇場なは一と
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

幽霊が移民する！？ 見えない隣人と旅する、神里流ホラーコメディへの挑戦。

神里雄大／岡崎藝術座『イミグレ怪談』記者会見のお知らせ



この度、移動し、越境する人々をテーマにした作品を発表する劇作家・演出家の神里雄大による岡崎藝術座が、那覇文化芸術劇場なは一との共同製作による新作公演『イミグレ怪談』を、沖縄を皮切りに東京、京都の3都市で上演することとなりました。公演に先駆けて神里雄大、出演者による記者会見を、那覇文化芸術劇場なは一にて実施いたします。遠方のプレスの方々は、オンラインにてご参加いただけます。

お忙しいことと思いますが、参加申込を受け付けておりますので、ご検討の程宜しくお願い致します。

● 記者会見

日時：9月22(木)14:00～15:00 那覇文化芸術劇場なは一と大スタジオ

登壇者：神里雄大(作・演出)、上門みき(出演)

リモート出演：松井周(出演)、大村わたる(出演)

※オンラインによる参加をご希望の場合には、メールにてご連絡ください。

ZOOMのミーティングルームを送ります。

9月20日(火)までに、以下のメール、電話にて、記者会見参加申込受付中

【取材申込・お問い合わせ先】

那覇市文化振興課 那覇文化芸術劇場なは一と

担当：土屋 ☎ C-BUNKA126@city.naha.lg.jp

山上 ☎ C-BUNKA117@city.naha.lg.jp

電話 098-861-7810 FAX 098-861-7870

ノート

見えない隣人——幽霊や妖怪は日常に潜んでいる。わたしたちの隣人と言ってもいい。存在するかしないか、そんな議論は不要だ。見える人にしか見えない存在。見たくない人は見えない、とも言い換えることができる。ちなみにわたしは見たことはないが見たい。見えないものがいたっていい。そういう「見えない隣人」が、もしも国や地域を飛び越えたらどうなるだろう？ と考えたのが今作の構想のきっかけだ。

戦争や地震などのあとには幽霊の目撃談が増えるらしい。

死者を思うことが、幽霊の誕生につながる。だとすれば、その存在はわたしたちの生活にとってなくてはならないもののようである。

なお、イミグレは英語で移民を意味するイミグレーションから採っているが、出入国管理のことでもある。見えないのは隣人なのか、あるいはその存在を受け入れたくない側の人間か。

時が経ち、幽霊の誕生理由が忘れ去られてしまったころ、幽霊は出自不明の妖怪になるんじゃないか、そんなことも考えている。

神里雄大

作・演出

神里雄大(かみさと・ゆうだい)

1982年生まれ。劇作家、舞台演出家。越境する人や文化をテーマに、自身の経験も交えた作品を創作する。2006年、『しっぽをつかまれた欲望』(作:パブロ・ピカソ)で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年、『バルパライソの長い坂をくだる話』で第62回岸田國士戯曲賞受賞。国内外の舞台芸術フェスティバルへ招聘多数。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修員として2016年10月から2017年8月までアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在。著書に戯曲集『バルパライソの長い坂をくだる話』(2018年、白水社)、『越えていく人——南米、日系の若者たちをたずねて』(2021年、亜紀書房)。

キャスト



上門みき(うえじょう・みき)

沖縄県出身。フリーランスとして沖縄県を中心に活動。岡崎藝術座には今まで『琉球怪談』(2021年 原作:小原猛)に参加。主な出演舞台作品に、『9人の迷える沖縄人(うちなーんちゅ)』(2020年-2022年)、『喜劇「人類館」』(2021年)、『弱法師』(2019年 利賀演劇コンクール)等。出演映画に、中川陽介監督『やくそく』(2021年)、『のぶゆきと母ちゃん』(2020年)、『笑顔の理由』(2020年)。2020年よりウクレレの弾き語りライブを行うなど、多岐にわたるパフォーマンスを行う。特技は旗回し。



大村わたる(おおむら・わたる)

1988年1月1日生まれ、奈良県出身。柿喰う客、青年団所属。唯一無二の雰囲気を持つ俳優。岡崎藝術座には今まで『+51 アビアシオン、サンボルハ』(2015年-2017年)等に参加。所属劇団以外の主な出演作に、舞台『カノン』(2021年 演出:野上絹代)、『東京原子核クラブ』(2021年 マキノゾミ演出)、『ビビを見た!』(2019年 演出:松井周)、口演『すれちがう、渡り廊下の距離って』(2016年 演出:三浦直之)、ドラマ「正直不動産」(2022年 NHK)、「元彼の遺言状」(2022年 CX)など。



松井周(まつい・しゅう)

1972年東京都出身。1996年劇団「青年団」に俳優として入団後、作家・演出家としても活動を開始する。2007年劇団「サンプル」を旗揚げ、青年団から独立。2011年『自慢の息子』で第55回岸田國士戯曲賞を受賞。近作にKAATキッズプログラム『さいごの1つ前』(2022年 脚本・演出)、彩の国さいたま芸術劇場ジャンル・クロスII 近藤良平×松井周『導かれるように間違ふ』(2022年 脚本)、『変半身(かわりみ)』(2019年 共同原案:村田沙耶香)など。

© 平岩享

公演概要

● 沖縄公演(新作初演)

日程:

2022年10月28日(金)19:00★ | 10月29日(土)19:00★ | 10月30日(日)13:00

※受付開始は開演の1時間前、開場は30分前 ★終演後にトークイベントを実施予定

会場: 那覇文化芸術劇場なは一と 小劇場 (〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27)

チケット料金(全席自由・税込):

一般 3,000円 | U24(24歳以下) 2,000円 | 18歳以下 1,000円

障がい者割引 20%(介助者の方は1名まで無料)

※当日券は500円増、未就学児入場不可

※U24のチケットをご購入の方・18歳以下の方は、当日受付にて身分証のご提示をお願いします。

※障がい者割引でご購入をご希望の方は、事前にお電話またはメールにてお問い合わせください。

当日受付にて障害者手帳の提示をお願いします。なお、車椅子スペースには限りがございます。

チケット好評発売中!

取り扱い: 那覇文化芸術劇場なは一とチケットサービス

窓口: 営業時間 10:00-19:00(休館日を除く)

WEB: <https://www.nahart.jp> (24時間対応)

沖縄公演に関する問い合わせ:

那覇文化芸術劇場なは一と

TEL:098-861-7810

(受付時間:10:00-19:00 *第一・第三月曜日休館、ただし祝日の重なった場合は翌日が休館)

WEB:<https://www.nahart.jp> E-mail:nahart@city.naha.lg.jp

主催:那覇市 企画制作:那覇文化芸術劇場なは一と、一般社団法人ベンチ

●東京公演

日程:

2022年12月15日(木)19:30 | 12月16日(金)19:30 | 12月17日(土)14:00/18:00

12月18日(日)14:00★ | 12月19日(月)14:00

※受付開始は開演の1時間前、開場は30分前 ★終演後にトークイベントを実施予定

◎託児サービスあり。1週間前までに劇場へご予約ください。

<https://www.geigeki.jp/access/support.html>

◎車椅子でご来場の方は、メールにてご連絡ください。

会場:東京芸術劇場 シアターイースト 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

チケット料金(全席自由・税込):

一般 3,500円 | U25 2,500円 | 18歳以下無料(予約制)

※当日券は500円増、未就学児入場不可

※U25のチケットをご購入の方・18歳以下の方は、当日受付にて身分証のご提示をお願いします。

※18歳以下の方は、特設サイトにて10月1日(土)10:00よりご予約ください。

チケット発売日:2022年10月1日(土)10:00

芸劇メンバーズ【WEB】先行販売 2022年9月20日(火)10:00~9月30日(金)23:59

取り扱い:

東京芸術劇場ボックスオフィス

窓口・電話:営業時間 10:00-19:00(休館日を除く)

TEL:0570-010-296 WEB:<https://www.geigeki.jp/t/> (24時間対応)

演劇最強論-ing <https://www.engekisaikyoron.net/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

東京公演に関する問い合わせ:岡崎藝術座 E-mail:ticket@okazaki-art-theatre.com

主催:岡崎藝術座 企画制作:一般社団法人ベンチ
提携:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
助成:芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団

●京都公演

日程:2023年1月28日(土)14:00★/19:00 | 1月29日(日)14:00

※受付開始は開演の1時間前、開場は30分前

★託児あり。詳細はロームシアター京都 WEB ページをご覧ください。

会場:ロームシアター京都 ノースホール(〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13)

チケット料金(全席自由・税込):一般 3,500円 | U25 2,000円 | U18 1,000円

※当日券は500円増、未就学児入場不可

※U25のチケットご購入の方・18歳以下の方は、当日受付にて身分証のご提示をお願いします。

チケット発売日:2022年10月8日(土)10:00

ロームシアター京都会員先行 10月4日(火)10:00~10月7日(金)23:59

取り扱い:ロームシアター京都チケットカウンター

窓口・電話:営業時間 10:00-19:00 年中無休(臨時休館日を除く)

TEL:075-746-3201

※新型コロナウイルス感染症拡大帽子のため短縮営業する場合あり

WEB:<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> (24時間対応)

京都公演に関する問い合わせ:

ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL:075-746-3201

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう2』参加事業

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人
全国公立文化施設協会

企画制作:一般社団法人ベンチ

スタッフ:

舞台監督:大久保歩(KWAT)／舞台美術:dot architects

音響:西川文章／照明:高田政義、上田剛(RYU)

衣裳:大野知英／映像:嶋田好孝／宣伝美術:bankto LLC.

制作:武田知也(bench)、平野春菜

製作:岡崎藝術座 共同製作:那覇文化芸術劇場なは一と

助成:公益財団法人セゾン文化財団

本リリースへのお問い合わせ:岡崎藝術座 Email: info@okazaki-art-theatre.com